

普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)8月21日

所属名:湖東農産普及課

番号:F24011

発信者名:宇野、川村^智、堤

JA 東びわこイチゴ部会が現地視察研修会を開催

8月5日、JA 東びわこイチゴ部会の定期総会と育苗管理に関する現地視察研修会が開催され、部会員12名と関係者6名が参加しました。

イチゴ栽培では、9月から始まる本ぼ定植に向けて、定植予定苗数の確保が重要となります。特に8月は高温のためランナーが伸びにくく、苗数を確保するのが難しいことから、ハウス内の温度管理やイチゴの灌水管理など栽培技術の徹底が求められます。

そこで、東近江農産普及課と連携し、育苗管理の技術が高い東近江市の藤澤いちご園の協力を得て、現地視察研修会が開催されました。生産者の藤澤氏から、「みおしずく」等のイチゴの育苗方法やハウスの管理方法を説明いただいた後、育苗ハウスを見学させていただきました。参加者からは育苗中の温度管理や病虫害の発生対策など多くの質問が出され、関心の高さが伺えました。

当課は東近江市内への移動時間を活用し、「みおしずく」の育苗管理や令和7年産種苗の申込みについて説明するとともに、今年度改定したイチゴの防除薬剤一覧表の見方を解説しました。

今後も、関係機関と連携し、「みおしずく」をはじめとするイチゴの安定生産と生産拡大が図れるよう、支援していきます。



写真1:みおしずくの育苗を確認する部会員



写真2:生産者の話を聞く部会員